

委員会名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 泉南	施設長	馬場 章	印
	第 15 回介護医療連携推進会議 議事録	管理者	徳永 公江	印
		書記	清水 健二	印
開催日時	令和 6 年（2024 年）9 月 17 日（火） 10：00～10：40			
開催場所	泉南医療福祉センター 2 階 応接室			
出席者	馬場章（施設長、新泉南病院 院長） 藤原慶子、三澤律子（泉南市健康福祉部長寿社会推進課） 田口義彦（シルバーハウジング会長） 田中知子（地区福祉委員長） 永本美純（泉南市地域包括支援センターなでしこりんくう管理者） 徳永公江（管理者） 畑原智子（計画作責任者） 清水健二（書記）			
欠席者	牧野彰一（民生委員長）	議事録確認 サイン		
討 議 内 容				
＜開会のあいさつ＞				（各参加者）
＜実績報告＞				（清水健二）
<p>・介護スタッフは 5 名より、6 月から 4 名体制となっている。</p> <p>終了 15 件に対して新規 18 件と上回っている。平均介護度は、介護のみの場合は要介護 1 の割合が高い傾向である。緊急訪問は、骨折など身体状況の著しい変化に伴い、増加傾向にあった。</p> <p>相談元は 83.8%が居宅介護支援事業所だが、ケアマネにより偏りは見られる。今後のプロモーションにより認知度を増加させていく必要がある。</p> <p>【ご意見】</p> <p>・特に無し</p>				
＜事例検討＞				（畑原智子）
<p>・利用者 T 様 夏場の空調管理及び服薬管理を主としたサービス。</p> <p>家族が遠方においても、各職種がうまく連携できており、安心して在宅サービスが継続できている良い例ではあるが、課題に対応できないと、即在宅生活の継続可能性が下がってしまう。</p> <p>【ご意見】</p> <p>・週 3 回以外の食事確認は取れているか。</p> <p>⇒調整含めて毎日の訪問にて確認できている。</p> <p>・認知症を近隣住民に知られたくないとのことだが、むしろ近しい住民には知っておいてもらった方が、良好な関係が築けるのではないか。</p> <p>⇒今後のアプローチとして家族と調整していく。</p> <p>・なぜエアコンを消すのか</p> <p>⇒直接風があたるのが不快とのこと。</p>				
＜防災＞				（清水健二）
<p>・令和 6 年 4 月より BCP（業務継続計画）の作成及び研修と訓練が義務化され、本サービスも訪問系サービスとして BCP を作成している。</p> <p>BCP の内容として基本的には震度 5 強以上で発動し、サービスは原則休止となり、職員 1 名の確保に対して、利用者 3 名（3：1）で再開を基本としており、安否確認シートにて安否を記録する取り決めとなっている。</p>				

平時より個別の対応方針を決めておくべきとの見解から、ハザードマップの想定区域上にいる利用者様を洗い出し、それを踏まえて「自然災害発生時の対策用紙」に、ご自宅の家具の固定状況や家族の助けがあるか、優先度は高中低の何れか、が一目でわかるリストを事前に作成し、常に携帯しておくよう対策する予定である。リストの内容など、ご意見など如何か。

【ご意見】

・安否確認することについて、各サービス事業所や担当ケアマネなど、それぞれ連絡することにより、連絡過多となるケースがあった。

⇒事前にサービス担当者会議などで調整しておく（インフラがダメになった場合なども含む）。

・民生委員としても、緊急時にケアマネと連絡が取れないと困ることが多いので、取れるように現在動いている。

<その他>

・特に無し

<次回開催予定日>

・令和7年（2025年）3月18日（火）10：00～11：00 泉南医療福祉センター 2階応接室（仮）